

仙人通信 185 猫越岳(1034.7m)

猫越岳(ねっこだけ)は、天城峠から達磨山へと連なる伊豆山陵の中間に位置する二等三角点の山である。

湯ヶ島と土肥の中間にある仁科峠(海拔 850m)に車を置いて、伊豆山陵線歩道を後藤山→猫越岳→三蓋山をピストンする約 5 時間半のコースの山歩きを計画した。

駐車場の奥の猫越岳・二本松峠・天城山を示す道標に従い、背丈 2m 程のハコネザサを除き 2m 程に整備されたコースである。8 分程で仁科峠の展望台のある最初のピークだ。

朝まで危ぶまれていた天気であるが、曇が落ちた程度で青空である。

北側には富士山を中心に白く冠雪した甲斐駒から南アルプスの山々が、その手前には御前崎から連なる竜爪山陵だ。富士山の下には愛鷹の山が、右手には箱根や丹沢が、更に天城の山々と 360° の眺望である。牧場への道路を横切り整備された階段を 20 分程登ると、最初の山である後藤山山頂であるが、10m 以上もあるアセビに覆われ眺望は“0”だ。

更に、U 字状に赤土が削られたコースを 30 分程進むと展望台である。先程の展望台より、高度の上がった分だけ見晴らしがよい。7 分程進むと猫越火口湖で、湖面には氷が張り詰め、木々にはサルオカゼと静寂を保っていた。10 分程で猫越岳の山頂だが、こちらでもアセビに覆われて何も望めなかった残念・・・。下り始めると落葉したブナが多くなり明るいコースとなる。一方足元ではシダやスギカズラがあるものの、他の草花は皆無だ。

25 分程下ると猫越峠で古くは堂ヶ島方面に下る道があったと思われるがロープで通行止めがされている。ここからは山脈の西側、即ち仁科川の沢の源頭を幾つも横切り進むコースである。ブナ・アセビにサクラやツツジも加わり、明るいコースだ。40 分程進むと急斜面の崖の下となり、鉄製の橋・木製の更新した橋・そして丸太を加工した 3 個の橋が連なる。岩は青緑色の凝灰質の砂岩が中心で中に雲母や石英があるらしく光を反射するものや、表面に気泡のある安山岩も見受けられる。10 分程進むとつげ峠だ。柘植の木を探して見ただが見当たらなかった・・・。ここからは杉の木立もあるが、ブナが主体のコースで山陵の東側を進む。時折万二郎等の山脈がブナの梢越しに覗く。コースは平坦な道から右側へ、ブナ林の中の登りとなり、25 分程で三蓋山の山頂に立つ事が出来た。

太いブナに覆われた山頂からは、山頂の写真の様に梢越しではあるが、富士山が見えた。

反対の南側には大島も望め、長九郎山や万次郎等も梢越しではあるが確認できた。

帰路は同じコースを戻るのであるが、時折望める富士山に勇気を貰いながら車へ戻った約 6 時間(31000 歩)のノンビリした山旅とすることが出来ました。 (H31.1. 9)

展望台からの富士

火口湖

猫越山山頂

三蓋山山頂

